別　紙

館の概要

（高知県立坂本龍馬記念館）

公益財団法人高知県文化財団

○概　　要

1　設置目的

坂本龍馬に関する資料を収集し展示することにより、近代日本の黎明に生涯を捧げた坂本龍馬の業績を顕彰するために設置された。

2　沿　　革

龍馬生誕150年の記念事業として、民間有志による実行委員会が募金を呼びかけ、県の助成金２億円を含め10億円の資金を集め、高知市の提供した長宗我部氏ゆかりの浦戸城跡の公園用地に、設計コンペで選ばれた斬新なデザインの記念館が誕生。その後県に寄贈され、県立坂本龍馬記念館として開館した。

昭和59年９月	龍馬生誕150年記念事業実行委員会発足翌年1月から募金活動始まる
昭和62年３月	坂本龍馬記念館の設計を公開競技とすることを決め、４月、運営を社団法人日本建築学会に委託
昭和62年11月	設計競技開始
昭和63年７月	設計競技第１次審査（応募総数475点）
昭和63年９月	設計競技第４次審査　最優秀賞に高橋晶子氏（横浜市）決定
平成２年４月	起工式　建築工事着手
平成３年６月	展示工事着手
平成３年８月	建築工事竣工
平成３年９月	高知県に寄付
平成３年10月	「高知県立坂本龍馬記念館の設置及び管理に関する条例」制定 (財)高知県文化財団に管理委託
平成３年10月	展示工事竣工
平成３年11月	開館（11月15日）
平成13年11月	開館10周年記念事業（11月15日～11月17日）
平成18年４月	(財)高知県文化財団を指定管理者に指定（３年間）
平成21年４月	公募により（財)高知県文化財団を指定管理者に指定（５年間）
平成23年５月	入館者数３００万人達成（5月28日）
平成23年11月	開館20周年記念事業、シェイクハンド龍馬像除幕式（11月13日、15日）
平成25年12月	坂本龍馬記念館リニューアル基本構想検討委員会発足
平成26年４月	(公財)高知県文化財団を指定管理者に指定（５年間）
平成26年７月	「坂本龍馬記念館リニューアル基本構想」策定
平成27年６月	高知県立坂本龍馬記念館基本設計策定
平成28年10月	新館増築及び既存館改修工事着手・平成29年４月工事に伴う休館開始
平成29年９月	新館完成・平成29年10月既存館改修完了
平成30年４月	リニューアルオープン(4月21日)
平成30年７月	入館者４００万人達成（7月15日）
令和元年４月	(公財)高知県文化財団を指定管理者に指定（５年間）
令和元年10月	国指定の重要文化財(京都国立博物館所蔵)初展示
令和２年10月	国指定の重要文化財(国立歴史民俗博物館所蔵)展示
令和３年10月	国指定の重要文化財(松浦武四郎記念館所蔵)展示
令和３年10月	開館30周年宮内庁所蔵「龍馬真筆書簡」特別展・同年11月同記念式典開催
令和５年２月	国指定の重要文化財(松浦武四郎記念館所蔵)展
令和５年５月	国指定の重要文化財(高知県立高知城歴史博物館所蔵)展示
令和６年４月	(公財)高知県文化財団を指定管理者に指定（５年間）

3　業務執行体制（２０名）

館長（嘱託員１）── 副館長（嘱託員１）

- 総務企画課長（副館長兼務）
  - 総務担当　（嘱託員１）（契約職員５）
  - 企画広報業務　（嘱託員１・学芸課兼務）（契約職員 6）
- 学芸課長（財団職員１）
  - 学芸員　（財団職員 3）
  - 学芸業務　（契約職員１）

4　施設概要

（１）施設概要

敷地面積　9,997.59㎡

構　　造 新館：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地上２階地下１階
本館：鉄筋コンクリート造、地上２階、地下2階 ／ 既存館

建築面積　新館：1,085㎡　　本館：1,210㎡

延床面積　新館：2,024㎡　　本館：1,944㎡

（内訳）	新　館	本館
地下２階	―	472㎡
地下１階	352㎡	512㎡
１ 階	733㎡	667㎡
２ 階	939㎡	245㎡
Ｒ Ｆ	―	48㎡

〈展示・収蔵関係延床面積〉

	新館	増築・改修前
常設展示室	384.56㎡	196.14㎡
企画展示室	105.42㎡	約80㎡
ジョン万次郎展示室	24.51㎡	―
収蔵庫	116.96㎡	8.52㎡

※常設展示室は前室を含めた床面積。ただし、本館の幕末広場・幕末写真館は含めない

（２）館内案内

新館　１Ｆ　受付・ホール・シアターコーナー
　　２Ｆ　常設展示室・企画展示室・ジョン万次郎展示室
本館　２Ｆ　体験型展示「幕末広場」「海の見える・ぎゃらりい」
　　１Ｆ　ミュージアムショップ
　　B1F　「図書コーナー」の他、土佐藩船「夕顔」の模型などの展示
　　B2F　「幕末写真館」幕末の人物約１３０人を写真で紹介

（３）建設費

総工事費用(展示工事等含む)　：　約２６億２，５００万円
うち、新館増築・本館改修工事費　：　約１４億６，５００万円

5　収蔵資料

＜主な真物資料＞

・龍馬直筆の手紙14点（寄託資料含む）
・海援隊約規（寄託資料）
・坂本龍馬宛木戸孝允書簡（慶応3年9月4日）
・坂本龍馬佩刀「備前長船勝光宗光」
・「漂巽紀略」（寄託資料）、土佐藩京都藩邸史料　など

龍馬の縁戚である弘松家などからの寄託と、寄贈や購入・移管による龍馬直筆の書簡の合わせて14点と、海援隊約規や刀剣などの真物資料をはじめ、龍馬書簡の複製60点、文書2,047点、絵画23点、書軸69点、船舶模型3点など約2,200点を所蔵している。

6　令和６年度利用状況

展覧会	入館者（人）	観覧料収入（千円）	備　　考
常設展・企画展	１１１，３６８	５３，９７０	（入館者内訳） 一般　　：９０，１６４人 小中高生　：９，５３６人 乳 幼 児　：１，３１９人 減免・招待者：１０，３４９人

7　その他

決算等関係書類については、当財団ホームページ上部の「情報公開」から令和６年度以前の年次報告書類が閲覧できます。